

医療データ分析・活用支援

アイセック 新潟県から受託

新潟大学発ベンチャーのアイセック(新潟市)は、新潟県内の全30市町村の医療情報の分析事業を県から受託した。国民健康保険加入者の匿名化

した医療データから健康課題などを可視化するとともに、各市町村の保健事業を整理・分析し、より効率的・効果的な健康作りの施策策定につなげる。市町村職員に対し、分析結果を説明し、データ活用などの技術支援も実施する。

アイセックは、健康支援事業を手がけるリンクエーシ(東京・中央)を創業した木村大地氏が新潟大学医学部内科とともに

19年12月に設立。新潟大学発ベンチャー制度の第1号にも認定されている。健康医療ビッグデータ分析やオンライン健康教育などの支援業務を手がけている。20年度には新潟市の健康医療データを分析して市の政策に生かす事業を受託している。

アイセックと、BSNアイネット、監査法人トーマツなど6社の共同事業体を受託した。期間は2022年3月末まで。県は、データを活用して健康改善を促す「データヘルス計画」の24、29年度を対象とした次期計画策定・実施業務で全市町